

目次

柿木畠商店街と金沢21世紀美術館一週年を迎えて	1
わが商店街(まち)のお宝物	2
わが商店街のお店自慢 ~飯田町商店街~(珠洲市)	
七尾駅前リボン通り商店街バザール市と七商祭(七尾市)	
斎藤別当実盛公とかぶと商店街(小松市)	3
武蔵北国街道ふくろう縁日(金沢市)	
商店街イベント・行事予定	4
商店街地域活性化視察 ~愛知万博(TMOシンポジウム)~に参加して	

編集発行 石川県商店街振興組合連合会
 〒920-0918 金沢市尾山町9番13号(金沢商工会議所内)
 TEL (076)222-8779 FAX (076)222-8779
 県振連メールアドレス
 isirengo@sky.hokuriku.ne.jp
 商店街賑わい創出に関する掲載原稿、
 ご意見、ご感想などお待ちしております!
 本誌は環境保護のため再生紙を使用しています

柿木畠商店街と金沢21世紀美術館一週年を迎えて

金沢21世紀美術館が、オープンから早くも一年を迎え、来館者数も150万人を突破し週末には多くの家族連れや、県外の観光客で賑わっています。柿木畠においても100万人突破のお祝いとして、来街者のお客様に各個店による色々なサービスを実施し、協賛をさせていただきました。

去年、この美術館がオープンする際、商店街に隣接する21世紀美術館であり、共に歩もうという目標を掲げ、柿木畠商店街の通りを『21世紀ロード柿木畠』と命名しました。

そこで、美術館と連動し商店街の活性化の一つとして、美術館の半券を店に提示すると様々な特典のサービスや、また飲食店に於いては、美術館にちなんだ新メニューも提供しております。

この様に一年が過ぎ、21世紀美術館が柿木畠商店街に対し、数多くのメリットをもたらしてくれました。

しかし、解決すべき問題点もあります。週末には多くの来街者で賑わっておりますが、平日の来街者が週末に比べ多くない上、特に夜間は顕著です。

21世紀美術館の市民ギャラリーに於いて、人体展が開催された期間は、夜間でも多くの人で賑わいました。

そして、これからの来街者を増やすためには、夕方から車でお越しになるお客様に対する駐車場などのサービスや、諸処の問題をいかに解決していく事が今後の課題です。

日々、多様化する消費者の動向において、来年3月、市の外環状線道路が完成した折には、市内の商圈が少なからずとも変貌すると考えられます。

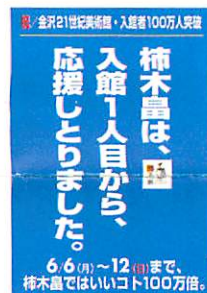
柿木畠商店街にとっては、正に今が正念場だと思っております。

金沢21世紀美術館は街に生き、市民と作る参画交流型の美術館でもあります。

柿木畠商店街は今以上に努力し、金沢21世紀美術館を末永く、応援したいと思います。



金沢21世紀美術館 (写真提供)



柿木畠 かきまつり (10月9日:せせらぎ広場)

わが商店街(まち)のお宝物

わが商店街のお店自慢 ～飯田町商店街～ (珠洲市)

飯田町商店街で昭和25年より医薬品・化粧品販売を営んでいる「川端薬局」さんは、最近、飯田町の癒しスポットとして評判になっています。別名「れい子の部屋」と称されているそのお店におじゃましました。

店舗の中には、ズラリと医薬品が陳列されていますが、その一坪ほどの一画には「恋する気持ちに花さかそう」「ゆっくりお話しませんか」等の言葉とイラストが絵手紙や色紙・石などに独特のソフトタッチで描かれ、展示されていました。「症状のご相談のときや調剤の待ち時間などに、ちょっと和んでいただきたいね。」と制作した薬剤師の川端玲子さん。なんでも、利き腕とは逆の左手で描いていらっしゃるというその作品は、なんとも言えない柔らかさに包まれており、読むほどに心が和みます。書に印してある篆刻は旦那様が制作されており、家族の愛が感じられるものとなっています。



楽しい街のいやしのスポット「川端薬局」

「商売も大事やけど、とにかく住んでいる人が楽しい街にしたい。それで飯田町が賑やかになればいい。」と店の外を見つめる玲子さん。商店街の活動にも積極的に取組まれており、飯田町商店街の広報誌「商店街かわら版」もすべて手書きで制作していただいています。

そういう思いが詰まった「れい子の部屋」は、街の方が癒しを求めて立ち寄る、新たな飯田町の交流スポットとなりました。

飯田町商店街協同組合

七尾駅前リボン通り商店街バザール市と七商祭 (七尾市)

10月1日(土)秋空の下で、七尾駅前リボン通り商店街では、通年事業の第110回バザール市の開催とあわせて来春3月末で閉校となる七尾商業高校の文化祭「七商祭」が共催されました。同校では地域密着の実践教育の一貫としてリボン通りの一角に七商チャレンジショップなどを出店しており、平成10年から文化祭の舞台をリボン通りに移し、地元商店街の人たちも協力して続けてまいりました。

当日は、陽射しも優しく時折小雨がばらつくなか、生徒たちは「最後の文化祭・七商よさこい踊り」で先輩たちから継承した情熱と磨かれた技巧を惜しむことなく、クラスごとに衣装や音楽などを企画演出したオリジナルよさこいの流し踊りを披露しました。若者らしい生き生きとした迫力のある演舞に、多くの観衆は見入っていました。夕方からは会場を七尾マリナーパークの特設ステージに移して、クラス対抗のよさこいなどを披露し、最後は全員一同に介して踊り文化祭を締め括りました。



七商よさこい踊り

模擬店では、麺類などの食べ物や七尾名物の大豆飴に胡麻を混ぜて作った生徒のオリジナル商品「ゴマちゃん」のほか、全国15校の商業高校が開発した商品なども販売をしました。当日の街中は、リボン通りや辻々が早朝から若者たちで溢れ明るさと元気いっぱいの日でした。

同校は明治30(1897)年の開校で108年の歴史を有し、来春4月に七尾農業高校、七尾工業高校と共に七尾東雲高校に統合されます。街中の賑わい再生のためにも統合後も七商の精神を継承して「新生・七東雲よさこい」の実現を期待しつつ能登の中核都市の商店街として、人々に愛される癒しと安心の商店街に鋭意努力してまいります。

七尾駅前通り商店街振興組合 理事長 大岩 利康



おそばの販売(商店街)



七商生による模擬店

斎藤別当実盛公とかぶと商店街（小松市）

今年は大河ドラマの影響もあり、年初から「実盛公の兜」拝観の方々の訪問が大変多く、私たち“かぶと商店街”では観光ボランティアによる実盛公の兜並びに実盛公に纏わる一連の説明・ご案内を行ってきております。

寿永2年(1183年)5月俱利伽羅の合戦で大敗を喫した平家は、加賀の篠原で再陣して対峙しましたが、義仲軍の前に頼勢の挽回叶わず総崩れとなりました。

この時踏みとどまって、平宗盛より拝領の錦の直垂と義朝公より拝領の菊唐草に鍬形の兜で若やかに勇戦討死したのが実盛公でした。実盛公は、かつて幼い義仲将軍の命を救った恩人で、老いの身に侮られまいと白髪を染めており、首級を洗わせた将軍は涙の対面の後、懇ろに弔い、その着具であった甲冑を多太八幡宮に納めました。時に実盛公73歳の老齢といえます。

多太神社やかぶと商店街通りは昔の北国街道に面しており、かつては源平の兵が通り、あるいは芭蕉翁が兜を拝観された誠に由緒ある街道であり、当時は道幅も狭く神社の周りは一面の田野であったそうですが、現在ではかぶと商店街の名は実盛公の兜がある商店街として、また北国夢街道と名称を替えて小松のメイン道路となりました。

その夢街道の近代化事業も平成12年着工以来、ようやく80%程の進捗率となり、かぶと商店街と本折商店街との提携による「円満市(朝市)」の定期開催等、より多くの市民や観光客も集う商店街として今後とも協力し合い街の活性化や商店街の発展にさらに努力して参りたいと思います。

かぶと商店街 加藤 憲夫



実盛公の兜



多太神社

武蔵北国街道ふくろう縁日（金沢市）

歴史の街 ～ふくろう通り「グルメ街道」の賑わい創生～

博労町交差点から旧ダイエー裏の通りにつながり武蔵が辻へと抜ける道筋は、半世紀に北国街道として整備され、商人の町として賑わっていた歴史ある界隈です。そんな伝統を大切にしつつ、個性あふれる通りとして再生するため武蔵商店街と地域の住民が協力して活性化を図っています。通りの通称は旧町名の「袋町」・「博労町」と縁起の良い鳥「ふくろう」をあわせて「武蔵北国街道ふくろう通り」と名づけ、イメージキャラクター「ふくたろう」と共に活動をしています。

8月21日(日)には恒例(今年で4回目)となった「武蔵北国街道ふくろう縁日」を通りに面する駐車場をお借りして開催致しました。この縁日のメインは、普段おまつりでは味わえないグルメ屋台で、鮎塩焼き・鰻蒲焼・手打ち韃靼そば・肉と蒟蒻の田楽、フレンチでは夏野菜カレー、イタリアンはパニーニなど、通りの飲食店の自慢料理が勢ぞろいし、袋町婦人部による海鮮焼き、今回特別企画の金沢初あま酒ソフトも加わり、どの屋台も人気を集めました。



新鮮な野菜を買い求めるお客様

ふくろう通りを知っていただこうと、通りの商店をチェックポイントとして簡単なクイズに答えながら通りを巡るウォークラリー「ふくろう通り探検隊」は、多くの親子連れや子供達にご参加いただきました。昨年から月に一度、湯涌みどりの里組合の方々の協力を得て開催している「ふくろう朝市」は夕市として行い、新鮮な野菜を買い求める皆さんで賑わいました。

また、まちなかパフォーマンス「マップス」による様々なステージ、ゆかたでの来場者へ特典をおつけしたり、ふくたろうの顔描きコンテストなども実施し、おかげさまで多くのお客様にお楽しみいただけたと思っています。

第5回目の縁日に向け新しい企画を取り入れマンネリ化しないよう、お客様もスタッフも共に楽しいと感じられる縁日にしていきたいと思っています。

武蔵商店街振興組合 事務局 岡谷 美香



たくさんの人で賑わう縁日

商店街イベント・行事予定

商店街名	イベント名称	日時	場所	内容
金沢 堅町商店街	タテマチ X'mas プレミアムセール	11月1日(火)～ 12月25日(日)	タテマチ	期間中、タテマチのレシート5,000円分につき1回、 お得なお買物券が当たるガラポン抽選会を実施
	「歩けるまちづくり」 セレモニー	12月3日(土) 12時～	タテマチ	12月1日から毎日歩行者天国になることを記念して 1,000人テープカットを開催
	「歩けるまちづくり」 オープニングイベント	12月3日(土) ・4日(日)	タテマチ	BMXとブレイクダンスのコラボレーション、オー プンカフェ、ゲリライベント等を実施
武蔵商店街	Musashi Good Luck X'mas	12月9日(金)～ 12月11日(日)	抽選会場 武蔵ヶ辻交差点地下道 クロスピア	期間中、武蔵商店街振興組合加盟店で、1度のお買 物金額が1,000円以上のお客様に1枚抽選券を進呈。 抽選で幸せを呼ぶクローバググッズをプレゼント!

◇商店街地域活性化視察 ～愛知万博(TMOシンポジウム)～に参加して

英国バーミンガム市のイングルス氏、レディング市のサットン氏による中心市街地の再生についての基調講演があり、引き続き千葉大学村木助教授をコーディネーターに、上記2名のほかまちづくりコンサルタントのクリスティヌ氏、青森市新町商店街振興組合の加藤常務理事がパネリストとなりディスカッションがおこなわれました。

○青森市新町商店街振興組合とは、どんなところ？

ねぶた祭りで知られる人口30万人余りの青森市は、平成3年に全国に先駆けて「コンパクトシティ構想」を打ち出し、「楽しく歩けるまち」「まちなか居住」をスローガンに再開発を進めてきました。平成9年に、高層アーケードに一新、照明もリングをイメージしたシャンデリアとし、歩道のカラー舗装化も実現しました。中心商店街32か所の駐車場と特別契約し、買い物客に無料共通券を発行。新町商店街のタイトル「人と緑にやさしいまちづくり」のキャッチフレーズをアピールするため、100mおきに設置したベンチ、水のみ場、障害者用の電話ボックス、案内板、花壇を設置したり、空き店舗を活用した「まちづくりプラザ」を買い物客の総合案内、休憩の場として提供、電動車いす・電動スクーターの無料貸し出しも行っています。

平成12年10月に「パサージュ広場」(空き店舗の土地を市が買い取る)が公設民営の事業(飲食店、衣料品店、雑貨店)として活用され、またフリーマーケットが開設され、若い経営者のステップアップの場となっています。

平成13年1月複合ビル「アウガ」がオープン。地下1階は生鮮市場(朝5時から)1～4階は、ファッション・雑貨などのテナント、5～9階には、男女共同参画プラザ、市民図書館(午後9時閉館)、若者から家族連れまで大いににぎわい、集客の核として機能しています。さらに、駅前再開発で医療施設、公共施設のある中高年者向けマンションが建設中とか。

○加藤常務理事の発言から。

- ・リーダー不在のまちは元気がない。元気に次のステップを踏んでいこうというリーダーをつくり、それをみんなで押し上げていく、時間というリスクをきっちり張れる人、すべての人の言うことを肯定できる人、どんなことにも負けない強い信念と忍耐強さを持っている人、こういう人を1人でも多く見つけ出し自分のまちのリーダーとしていくことが大事です。
- ・ご用聞き商売が商店街に本当に必要で、見直されてくるときがくるであろう。そして中心街区は、まさしく物の売り買いだけでなく、みんなが集えるような交流の場所になるだろう。そのためにどんなまちをつくらうかということが、中心街区の再開発化という一つの計画なのではないでしょうか。

石川県商店街連合会